



「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
推進校実施報告書

- 1 学校名：札幌市立南白石小学校
- 2 実施日時：2018（平成30）年11月8日（木）13：30-14：15、14：30-15：30
- 3 対象：児童21名（3年生1クラス）
- 4 会場：札幌市立南白石小学校
- 5 授業内容：道徳科

2018（平成30）年11月8日（木）に、札幌市立南白石小学校にて、リレハンメル大会で金メダルを獲得した阿部雅司さん（スキーノルディック複合／リレハンメル大会優勝）のエピソードを教材とした道徳の授業が行われました。今回授業を行ったクラスは、事前に「札幌オリンピックミュージアム」を参観し、阿部さんの講演を聞いたり、ミュージアムの観覧を行いました。また、授業では、札幌市スポーツ局及び札幌市教育委員会が作成したオリンピック・パラリンピック教育副教材「私たちのまち札幌とオリンピック・パラリンピック」が活用されました。

授業は、「札幌オリンピックミュージアム」に行ったときの写真を見ながら、阿部さんの講演の内容を思い出すことから始まりました。そして、阿部さんがアルベールビル大会で団体戦のメンバーに入れずに挫折したが、諦めずに努力を続けて次のリレハンメル大会で金メダルを獲得した、というエピソードを時系列で整理し、その時々阿部さんの気持ちを考えたり、発表したりしながら進められました。児童達は、阿部さんのエピソードと自分の経験とを重ね合わせながら、阿部さんの気持ちに共感している様子でした。例えば、「リレハンメル大会でメンバーから外れてしまった阿部さんが諦めずに頑張れたのはなぜか？」という問いに対しては、「支えてくれる存在がいた」、「自分が頑張っている姿を子どもに見せたかった」などと阿部さんの気持ちを答えたり、「自分も運動会で応援してもらって頑張ることができた」という自分の体験について発表している様子が見られました。また、「阿部さんのエピソードの中で一番共感したところはどこか？」という質問に対しては、多くの児童達が「アルベールビル大会後に、阿部さんがもう一度頑張ろうと思いついたところに共感した」と回答していました。最後に、授業のまとめとして、阿部さんへの手紙を書きました。

授業後には、学校の先生、オリンピック、パラリンピアン、大学教員等から構成される「私たちのまち札幌とオリンピック・パラリンピック」の作成委員のメンバーを中心に検討会議が行われました。そこでは、主に札幌オリンピックミュージアムの活用方法と副読本の内容の2点について検討が行われました。前者に関しては、「ミュージアムがあることでオリンピックを身近に感じることができる」、「施設内にオリンピックのエピソードを中心としたスペースを作ってほしい」といった意見がでました。後者に関しては、「この副教材は入口で、少しずつ改良していきたい」、「自分の町に愛着を生むように副教材を活用していきたい」、などの意見が出されました。

## 6 授業の様子



【 オリ・パラ教育副教材 】



【 写真をみながら振り返り 】



【 文章資料の読み合わせ 】



【 話し合い 】



【 今日の授業のまとめ① 】



【 今日の授業のまとめ② 】



【 阿部さんへの手紙を書く様子 】



【 検討会議 】